

令和２年度青森県地域医療構想調整会議（書面開催）に係る意見等と対応

No.	構想 区域	意見の内容（一部要約）	意見への対応	提出者
1	津軽	<p>コロナ病床を整備するために、一病床（60床）をコロナ病棟（21床）とした。そのため、急性期病床が282床（342床－60床）となり、二次的急性期病院としての機能を維持することに不安が生じた。</p> <p>特に、二次輪番が続くときにベッドに余裕がなくなることがあった。</p> <p>今後、どのように対処すればいいのか？</p>	<p>地域医療構想調整会議においては、今般の経験を踏まえ、新型コロナウイルス感染症への対応を見据えながら協議していきます。</p>	<p>国立病院機構 弘前病院</p>
2	津軽	<p>(資料1-3：令和元年度病床機能報告の結果(診療実績等)上十三地域)13頁)</p> <p>「リハビリテーションの実施状況」の実績誤りによる訂正</p>	<p>訂正後の資料を県ホームページに掲載します。</p>	<p>医療法人整友 会弘前記念病 院</p>
3	津軽	<p>(資料6：基金を活用した補助制度について)</p> <p>病床数見直し等への支援の（２）、（３）の活用を予定</p> <p>(資料7：病床数適正化推進事業費補助金（病床削減支援給付金）実施計画について)</p> <p>令和３年度の活用を予定</p>	<p>後日、詳細について確認します。</p>	<p>弘前市立病院</p>